

JZ-BRAT
SOUND OF TOKYO

東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワー
東急ホテル 2 階
予約 / 問合せ 03-5728-0168



去りゆく夏のサウダージ Vol. 9

村本 玲奈 *Live*

P.Key:若宮 功三 B:江上 友彦 D:吉田 和雄 G:越田 太郎丸 Guest/ Tp:神村 英男

2018/9/27(木) Open 18:00 / Start 19:30 2stages.

Music Charge 当日 ¥4,700- 前売 ¥4,200-

株式会社オフィス017 〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-15-917 TEL03-6868-4006

村本 玲奈 Live 去りゆく夏のサウダージ Vol.9

若宮功三 (P, Key) 兵庫県出身

デビット・サンボーン、ランディー・ブレッカー、スティーブ・ガット、ウィル・リー、ジニス・シーゲル(マンハッタン・トランスファー)、シーラ・レイチャールズ、ミンガスオーケストラなど、その他数々の全米を代表するミュージシャンとのアルバム制作。国内では、阿川泰子、あおい輝彦、麻丘めぐみ、尾崎紀世彦、森口博子などなどコンサートツアーのアレンジ&ピアノ、その他、上田正樹、五輪真弓、西城秀樹、研ナオコ、TARAKO、門倉有希、小椋佳、ペドロ&カプリシャスなど、数々のアーティストの音楽活動をサポート。新人、ベテランを問わず数々のプロデュースやアルバム制作、演奏、ライヴハウス、都内多々ホテル出演する。

江上友彦 (B) 神奈川県出身

幼少の頃からクラシックピアノを始め、高校時代にエレキベースに出会い大学入学後にジャズ研でウッドベースを始め演奏活動を始める。ベーシスト坂井紅介氏に師事。また作曲家、アレンジャー、ピアニストとしての一面も持つ。2012年11月よりオリジナル曲だけのリーダーバンド『IMAGE←』の活動を開始。2018年7月に自身の2ndアルバム『Image of Sound』をリリース。オリジナリティーに溢れた曲作りにも力を注いでいる。ジャズセッション、ポップスグループのサポート他、都内、横浜のライブハウス等で活動中。

吉田和雄 (Dr) 埼玉県出身

子供のころから地元のまつりに親しみ、囃子を学ぶ。高校時代に「ボサノヴァ・ブーム」が到来、そのリズムに魅せられて大学在学中にドラムを学んだ。ブラジル音楽に傾倒した「Spick & Span」を結成、11枚のアルバムをリリース。プロデューサーとしては、ボサノヴァシンガーの小野リサを世に送り出し、南佳孝やブラジルのスター、ジョイス、カルロス・リラ等も手掛ける。まさにブラジルと日本の架け橋的存在で、71回の渡伯経験を持ち、今年9月には日本人では初めて、ブルーノート・リオに出演。

越田 太郎丸 (G, Co) 東京都出身

ボサノバとクラブミュージックを融合させたユニット『Prismatica』のギタリストとして1997年にCDデビュー、ベスト盤を含む7枚のアルバムをリリース。アントニオ・カルロス・ジョビン、トニーニョ・オルタ、ジョアン・ポスコ、などブラジルのアーティストから作曲、編曲、奏法の影響を受けブラジル音楽を軸に演奏活動を展開。辛島美登里、石丸幹二、葉加瀬太郎、Jazztronik、coba、など様々なアーティストのライブサポートやレコーディングに参加。『Prismatica』のほか『Bossa do Mago』『森』などのバンドにも参加し作曲・編曲を手掛ける。ピアニスト榊原大とのデュオ『男子二楽坊』やピアソラ作品をピアソラスタイルで演奏するタンゴバンド『TANGO OGNAT』は全国的にファンも多い。2018/6/20にガットギター独奏によるアルバム“Twenty Years”をリリース。

神村英男 (Tp, Pandeiro) 東京都出身

早大ジャズ研出身。在学中にプロ入り。渡辺貞夫 YAMAHA リハ・オーケストラに参加。東京ユニオン、世良譲グループ等に参加。1988年、原信夫シャープス&フラッツに入団。自己のバンドをはじめ中村照夫ライジングサンバンドなど多方面で活動中。ヴォーカル、パンデイロを巧みに操り、チェットベーカースタイルとブラジリアンサウンドが融合し、モダンジャズエッセンスとラテンジャズのパッションがはじけ飛ぶライブに定評がある。